

# 日造協ニュース

2024.9月  
通巻第606号

## Japan Landscape Contractors Association NEWS

発行：一般社団法人日本造園建設業協会 編集：広報活動部会 <http://www.jalc.or.jp>  
〒113-0033 東京都文京区本郷3-15-2 本郷二村ビル4階 TEL:03-5684-0011 FAX:03-5684-0012

2面 造園技術フォーラム部会 DX勉強会【実施報告】  
北海道登別市のDX活用法、支部のDX取り組み事例等を学ぶ  
【学会の目・眼・芽】造園空間と価値の継承  
(公社)日本造園学会理事、奈良県立大学地域創造学部教授 井原 緑  
3面 令和6、7年度 日造協 各委員長・部会長のごあいさつ  
4面【ふるさと自慢】工業地帯として栄えてきた川崎、じつは歴史と文化の街  
神奈川県支部 井上 雅博(株井上植木)  
【緑滴】木のぬくもり  
滋賀県支部 青木 みなみ(中西宝山園株)

## 令和7年度 国交省都市局関係 概算要求 3,635 億円に

国土交通省の令和7年度予算概算要求は、国費総額7兆330億円(対前年度比1.18倍)となった。都市局関係では事業費3,635億円(1.08倍)、国費1,554億円(1.20倍)で、国営公園等が事業費435億円(1.16倍)、国費386億円(1.19倍)、市街地整備が事業費3,138億円(1.06倍)、国費1,130億円(1.20倍)となった。

令和7年度都市局概算要求の基本方針は、①能登半島地震からの復興と自然災害への着実な備えとして、防災・減災・復興まちづくりをより強力に推進。②気候変動への対応、生物多様性の確保、Well-beingの向上に都市が率先して取り組むべく、緑地の質・量両面からの確保やエネルギー利用の再エネ化・効率化、暑熱対策など、まちづくりGXを重点的に推進。③都市の基幹的課題への対応として、●立地適正化計画の実効性の向上や広域連携を見据えた取組など、コンパクト・プラス・ネットワークの深化・発展●大都市の国際競争力強化とまちなかのにぎわい創出など、地域経済の活性化を通じた地方都市再生●戦略的なデジタル政策の展開によるニーズの多様化に応えた都市政策を実現するまちづくりDX等に総合的に取り組むこととしている。

このうち、安全・安心、防災・減災・復興まちづくりでは、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を着実に推進。能登半島地震復興支援のほか、全国における防災対策の推進として、①災害に強いまちづくりの形成では、「防災公園の機能強化」を掲げ、災害発生時の避難地、防災拠点となる公園の災害応急対策施設の整備を推進。そのほか、「老朽市街地の防災性の向上」「安全・安心な避難経路の確保」を図る。②安全な地域への移転促進として、既存ストックを活用した事前移転を推進、事前防災・事前復興準備として、事前復興まちづくり計画策定支援の強化、UR都市機構によるコーディネート支援を行う。

### グリーンインフラを活用した防災・減災

雨水の貯留浸透機能等の高いグリーンインフラの創出・保全等災害の低減に資する取組を支援する。

【KPI】全国の主要都市(30都市を想定)における防災・減災に資するグリーンインフラの取組実施率  
■現状：10% ⇒ 令和7年度達成目標：90%  
■5か年加速化対策による達成年次の前倒し  
令和11年度 ⇒ 令和8年度



従来の公園整備  
雨水貯留浸透に配慮した公園整備のイメージ

### 防災公園の機能確保

多様な災害に対応した防災公園の整備により、災害発生時の避難地、防災拠点としての機能を確保する。

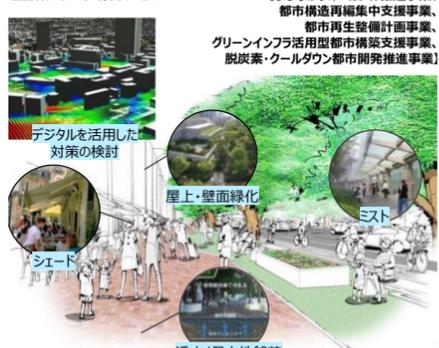
【KPI】機能を十分発揮させるために整備が必要な防災公園(約160箇所程度)の対策実施率  
■現状：- ⇒ 令和7年度達成目標：80%  
■5か年加速化対策による達成年次の前倒し  
令和13年度 ⇒ 令和9年度



広域防災拠点  
防災公園の整備イメージ

### 猛暑の中でも安全・快適に暮らせる都市環境の形成

○まちなかのクールスポット創出への支援  
官民で複合的に取り組む冷却効果の高い施設(遮熱舗装や日よけ・ミスト等)や暑さをしのぐ休憩施設等の設置、暑熱対策に資する緑化の取組、民間事業者が先進的に取り組む実証事業について重点的に支援する。



まちづくりGXにおける主な取り組みの一つ

まちづくりGXでは、①気候変動への対応、②生物多様性の確保、③Well-beingの向上を都市に求められる3つの視点として、●緑とオープンスペースの確保による良好な都市環境の形成、●街区単位での取組支援、●都市構造の変革の促進、●猛暑の中でも安全・快適に暮らせる都市環境の形成の4つの重点取組テーマを掲げて、民間事業者等による緑地確保の取組の加速化や都市公園における生物多様性確保の促進、まちなかのクールスポット創出への支援を行う。

そのほか、2027年国際園芸博覧会や首里城復元に向けた取組では、2027年に神奈川県横浜市で開催するA1クラス(最上位)の国際園芸博覧会について、開催に向けた準備を着実に進める。

また、令和元年10月の火災により焼失した首里城について、令和8年の正殿の復元に向けた取組等を進める。

◆  
令和7年度概算要求の主な新規・拡充要求のうち、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の着実な推進」として、「防災公園の機能確保」、「都市公園の老朽化対策」、「グリーンインフラを活用した防災・減災」などの取組を支援する。

### 都市公園の老朽化対策

都市公園においてインフラ長寿命化計画に基づく老朽化対策を進め、予防保全型管理への移行を図る。

【KPI】インフラ長寿命化計画を策定済みの都市公園(約66,000公園)のうち、緊急度の高い老朽化した公園施設の改修等の対策を実施できている都市公園の割合  
■現状：31% ⇒ 令和7年度達成目標：80%  
■5か年加速化対策による達成年次の前倒し  
令和12年度 ⇒ 令和9年度



施工前  
施工後  
老朽化した園路の改修イメージ

防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の項目の一部

## 樹林 (一社)日本造園建設業協会理事 株九州造園 代表取締役 藤田 良司

### 自然修復のムーブメントを起こそう



皆様いかがお過ごしですか。今年度、九州総支部長を拝命しました藤田良司です。私は『世の為人の為、私自身にとっても楽しいことを実践する。』をモットーとしております。齢60歳を過ぎた時に友人のMr.Greenからこのような便りが届きました。貴重な紙面ではございますが紹介させていただきます。

◆  
『人類の皆様、あなた方は地球の環境問題に取り組まなければならない今、紛争や戦争に明け暮れています。イデオロギー、宗教、人種、民族、文化を超えて手を携えて環境の修復に取り組まなければならない時代なのに。あまりにも自己中心的です。』

数千年前、皆さんが云う「四大文明」誕生の地の多くが現在砂漠化しています。もともと砂漠だったところに文明が誕生する訳がありませんし、砂漠に都をつくる愚か者もいません。数千年前、彼の地は緑豊かな場所だったはずなのです。

そこに人々が住み街をつくり、我々の仲間を伐採し燃料として建築材として使い食料供給のために農地をあげました。その挙句緑が育たない地としてしまいました。残念ながら皆さんは歴史を教訓としていません。

また産業革命の頃から、地下や海底の奥深くに眠る我々の先祖に「化石燃料」なる名称をつけて掘り起こし汲み上げ利用し発展したのは良いのですが、この地球を住みにくい星にしてしまいました。その「化石燃料」も残り少なくなっていますよ。

ここ数十年、COPなる締約国会議

をつくり条約を策定したりしていますが、その実践はどうですか!?

紛争当事国の殆どがCOP加盟国ではありませんか。CO2削減を謳いながら巨額を使って自然をも破壊し続けています。失われた人命の数は毎日のように報道されますが、それ以上の痛手をこの地球にもたらしています。

生態系ピラミッドを描き子供たちに学習させているのは皆さんですよ。このまま進むと、1000年後にはこの地球から哺乳類は絶滅してなくなるのではありませんか。いやいや数百年もたないかもしれませんね。

未来の地球は植物と昆虫が主体の惑星になるでしょう。我々樹木をはじめとする植物は数万年~数億年を要して自然環境を整えながら変異して種を保存していきます。昆虫もしかりです。いっそ人類が滅びてしまう方がこの星にとっては良いことだと思われませんか?』

◆  
果たして我々が生きている間は「異常な暑さだ。」「災害が増えた。」「未来はどうなるの。」等の会話がすみませんが、近い未来ではなく近い将来本当に人類は滅亡するかも知れません。

優秀な科学者が絶えずCO2を固定化(削減)する画期的な技術開発に日夜取り組んでいるのでしょうか実現するのはいつになるやら。緑に頼るしかないのでは!?

我々日本民族のように自然を征服せず共生してきた者がイニシアティブを発揮して自然修復の世界的ムーブメントを起こさなければなりません。我々緑産業者が主となって!!

また、改正都市緑地法等を踏まえた緑地確保の推進として、令和6年5月に成立した都市緑地法等の一部を改正する法律により創設された、国による緑の基本方針の策定や企業等による優良な緑地確保の取組を国土交通大臣が認定する制度について、改正法の効果を最大化するた

め、地方公共団体が活用可能な緑被率算定のための簡易な手法の開発や認定された緑地を国内外に広く発信するための広報ツールの作成等の環境整備を進めるとともに、ネイチャーポジティブの実現に向けて、生物多様性の確保に資する都市公園の整備を推進する。

## 全国労働衛生週間 本週間 10/1~10/7 準備期間 9/1~9/30

全国労働衛生週間は、働く人の健康の確保・増進を図り、快適に働くことができる職場づくりに取り組む週間で、昭和25年に第1回が実施されて以来、今年で第75回を迎え10月1日~7日を本週間、9月1日~30日を準備期間に実施されます。

今年のスローガンは、「推してますみんな笑顔の健康職場」です。

労働者の健康をめぐる状況は、高齢化の進行で一般健康診断の有所見率が上昇を続け、何らかの疾病を抱えている労働

者が増加。女性就業率が上昇し、働く女性の健康問題も課題となっています。このほか、業務上疾病は引き続き高い発生件数で推移し、熱中症や腰痛など、気候変動、高齢化等の要因による業務上疾病の発生が増加している傾向にあります。

こうした労働環境を取り巻く変化に対応し、あらゆる労働者が健康に働き続けるためには、職場における健康管理はもとより、女性の健康への対応、治療と仕事の両立支援、高齢労働者が安心して安全に働ける職場環境づくりの推進が重要となっています。

この機会に自主的な労働衛生管理活動の大切さを見直し、積極的に健康づくりに取り組んでみましょう。

造園技術  
フォーラム部会  
DX勉強会  
【実施報告】

# 北海道登別市のDX活用手法、 支部のDX取り組み事例等を学ぶ

我々造園業界も時代の変化に応じた効率良い取り組みが課題となってきたり、DX化(デジタルトランスフォーメーション)推進のため、今年度から造園技術フォーラム部会が勉強会を開催し、全国の会員に発信していくことになりました。令和6年8月26日(月)北海道登別市と札幌市にて、DX勉強会に相応しい遠隔地のオンラインも併用で意見交換会を開催した結果をご報告いたします。

造園技術フォーラム部会 尾形 伸也

## 1. 登別市のDXの考え方と取り組み(登別市役所)

登別市総務部DX推進室の菊地徹室長から取り組みについての説明があり、始めにDX化を推進するキッカケは新型コロナウイルス感染症の影響で、対面の機会が減ったことにより、業務の効率UPのために必要となり、小笠原市長が率先して全体共通認識を変えていき「DX推進室」を立ち上げ、進めていったそうです。

現在、新庁舎の移転に伴い様々なDX改革を検討(職員の机を決めずテレワーク推進、固定電話からスマートフォン1人1台持参、窓口の機械化、AIの活用等)次世代に向けた職場環境を目指し取り組まれています。

造園業界で参考にしたい点は、クレーム・トラブルのリアルタイム共有化、公園・道路の工事進捗が把握できる情報共有の方法も検討中とのことでした。

予想以上に進んだ取り組みに関心していましたが、DX化を推進する上で、一番重要な点は対面でのコミュニケーションを大切に人材育成しながら進めていくこと。とのことで、良好な人間関係なくしては効率化は図れないということが分かりました。

公務が多忙の中、同席いただいた小笠原市長は登別市ご出身、東京農業大学農学部造園学科ご卒業で、2008年市長初当選、現在5期目。5期目公約の中に「企業のデジタル化・DX化を支援すること」・「ICTを活用した基礎学力の向上や学習意欲を地域全体で応援できるまちづくり」等掲げ、新たな取り組みを積極的に目指されています。前日は登別地獄まつり中にも関わらず、宿泊先にも訪問いただきました。今後もご活躍を期待しております!

## 2. 北海道支部のDX取り組み事例を学ぶ(札幌市)

札幌市に場所を移し、フェアフィールド・バイ・マリOTT札幌の会議室にて本部とオンラインでつながり、北海道支部会員のDX取り組み事例をご紹介します。

### ①吉田 巧(株)横山造園 専務取締役

●eスポーツを取り入れた新しい社員研修サービス●「サイボウズ・ガールン」は、社内のコミュニケーションを促進すると共に、メールチェックの指示やハラスメント講習等も行える●「楽楽精算」

は振込手数料がかかるが、現金の取り扱いと管理がなくなり、経理の負担が減った●ASP型工事情報共有システムの導入状況は、行政により、まちまちだが今後増えると思われる●若者の気持ちを考えたDX戦略を推進されている。

### ②廣部 修平(株)南香園 代表取締役

●VPNを構築し、いつでもどこでも社内にいる環境と同じデータ管理●「LINE WORKS」は、スケジュール



登別市総務部DX推進室 菊地室長からのご説明



登別市 小笠原春一市長との懇談(前日)

管理機能と通話のみ運用中。今後は社員が使いやすいツールも話し合って活用していく●札幌市では、公園および街路樹の維持管理業務のDX化として「公園緑地GISアプリ」を試験的に導入しているが、現場代理人しかアプリ操作できないので、メール見逃しや責任が一人に集中してしまう心配がある...●震災など災害時、電話は繋がりにくく、LINEは繋がったので、今後アプリと連携できれば良い●責任が大きいと若手世代の負担になるので、情報を共有できる仕組みが必要と考える。

### ③市川 秀一(株)市川造園 代表取締役

●クラウドシステムを活用しスケジュール管理や回覧共有●DXに対応できる人材教育や導入を推進、引っ張る力がDX化するにあたり大切●「使えるくらい」を使用し、顧客管理・進捗管理・スケジュール管理・車両管理に活用●DXにより作業時間を削減できた分、アナログ(人とのコミュニケーション)に時間を費やしたい。

### ④大西 明人(株)東武緑地(株)北海道事業部長

●働き方の多様化で、適材適所の人員を配置するためマニュアル動画を作成(業務の統一化)●動画を見てもらうイメージしやすいため、質問が出やすく、コミュニケーションにもつながり、正規雇用にもつながる●各現場スタッフが連携し作業を進めることが大切。

### ⑤當内 匡(株)庭樹園 代表取締役(web参加)

●海外では樹木の価値(環境的価値、二酸化炭素を吸収、蒸散による冷却効果等)を定量化し、緑の価値を総合的にアピールしている●街路樹や公園樹をどのように管理していくか?生態系サービスを変えていく取り組みのソフトが活用され始めている。

### まとめ(大場部会長)

DX化が進むと対面で話す機会が減るので、今まで以上にコミュニケーション能力やその機会が大切だということが感じられました。

学会の目・眼・芽 第138回

## 造園空間と価値の継承

(公社)日本造園学会理事、奈良県立大学地域創造学部教授 井原 縁

本年6月24日、「日本万国博覧会記念公園日本庭園」(以下、万博日本庭園)が、国の登録記念物(名勝地関係)の新たな対象として文化審議会から文部科学大臣に答申された。気がつけば約10年にわたり、官・産の実務家の方々と共に、当該空間の景観整備に関与し

続けてきた筆者にとって、少なからず感慨深い出来事であった。

1970年に大阪府吹田市千里丘陵開催された日本万国博覧会(大阪万博)は、アジア初の万博として大注目を集め、6,000万人を超える国内外の人々を誘引した。この会場のほぼ北半分を占める約25haの広大なスケールで、当時の造園技術の粋を集めてつくられた政府出展施設が、この万博日本庭園である。計画当初より「現代の代表的な造園」として永久に残ることが意識されており、以後現在に至るまで人々の利用に供され続けてきた、まさに、大阪万博の貴重なレガシーである。



万博日本庭園

緑あって、筆者が当園に関わるようになり強く認識した最たる課題は、管理運営の現場で何を重視すべきか、拠って立つ軸の不在であった。社会的ニーズに呼応した変化が求められる「公園」の一施設であり、かつその時々体制によっても方針は変化する。その揺れが、植栽剪定方針など維持管理の在り方にはもちろん、これまでの整備や改修内容にも如実に反映されていた。一方で、他ならぬ万博のレガシーとしての文化的価値はさほど明確に共有されておらず、万博記念公園全体のマネジメントが、官と多様な産との連携体制に変化していくなかで、ますます茫洋としていくリスクも孕んでいた。

体制の強化により場の魅力向上を目指すことは大事だが、その方途が当園の「存在理由」ともいべき価値を損

なうものであっては本末転倒である。従って、この課題解決に向け、その時々流れや体制に左右されず、一貫して確実に守るべき価値を基盤に据えた管理運営スキームを確立させることとなった。上記の名勝登録は、官・産・学の協働のもと、設計思想の検証をはじめとする調査と検討・協議を重ねてきたこれまでの取り組みのひとつの区切りであり、同時に大きな始まりである。

この事例に限らず、一定の時が経過した造園空間の場合、その存在価値を見つめ直し、磨き上げを検討することが、当該空間・景観に独自の豊かさを発現させる鍵となることがある。文化財登録や指定の有無を問わず、維持管理の現場で方向性が見えなくなった際には、ぜひ、造園された当初の思想や状況を問い直してみたい。

**建設業のみなさんへ**

**建退共**

**に入ろう!**

従業員をまもる。会社を強くする。

**建設現場で働く労働者のための国の退職金制度です。**

掛金は損金扱い! 新規加入で一部免除

電子申請方式なら手続きもカンタン!

一人親方も加入できる!

詳しい情報は [こちら!](https://www.kentaikyoo.taisyokukin.go.jp)

建退共 <https://www.kentaikyoo.taisyokukin.go.jp>

独立行政法人 勤労者退職金共済機構 建設業退職金共済事業本部 〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1 TEL 03-6731-2866

**建設業退職金共済制度**

**造園技術フォーラム参加申込 9/30まで**

第16回造園技術フォーラムを下記のとおり開催します。日造協HPをご確認のうえ、ぜひご参加ください。

主催: (一社)日本造園建設業協会  
協力: (公社)日本造園学会  
日時: 11月8日(金) 13:00~16:30 (予定)  
会場: カルッツかわさき (定員1,000名)  
内容: 第1部 先進技術発表  
第2部 講演・講習  
費用: 無料 詳細: 日造協HP  
申込: イベントページをご利用ください  
こちらよりお申込みください(イベント) ↑

# 令和6、7年度 日造協 各委員長・部会長のごあいさつ

令和6、7年度の日造協 各委員長・部会長のごあいさつを数回に分けてご紹介します。各委員会、部会については7月号（604号）に掲載しています。

## 総務委員会



**委員長 大嶋 聡**

我々造園業界の抱えるさまざまな課題を一つずつ解決し、職能の地位向上を図りたいと思っています。

上を図りたいと思っています。

特に、働き方改革、会員メリット拡大、DX化推進等により、会員企業を増やすことはもとより、既会員企業の若手、次世代が日造協活動を知り、関心を寄せ、

さまざまな活動に参画し、さらに自己研さんが図れるような仕掛けを創出したいと思えます。

そしてその結果、財源確保、ひいては安定な運営が同時に図れればとも考えて

います。

当協会活動が各会員企業さまの「生業」の繁栄に直結するよう、是非皆さんの時流を捉えた前向きな意見等をお寄せ頂きたく重ねてお願い致します。



**財政・運営部会 部会長 山岸 通庸**

新任部会長の山岸です。会員の声を収集し、部会メンバーで意見交換を

しっかり行い、当協会の健全な運営、さらなる発展に寄与するべく部会運営に当たらせていただきます。ご協力をお願い申し上げます。



**財政基盤強化部会 部会長 持田 正樹**

現在の社会状況からすると、近い将来会員数が減少に転ずることが予想される

ため、昨年度実施したアンケート結果に基づき、会員の皆様の事業継続のための問題解決に、少しでも役立つ具体策を打出し、会員拡大部会と協力し取り組んでいくことに重点をおいて活動してまいります。



**経営環境改善部会 部会長 大嶋 聡**

「造園」が、業界全体で社会資本整備には不可欠であるということを再認

識し、実践し、広くPRすること、そして処遇改善を図ってゆき、従事者のエンゲージメント向上を図ってゆきたいです。まずは働き方改革推進を推進し、入職者を増やすことに注力したいです。



**広報活動部会 部会長 成家 岳**

今期の広報活動部会では造園フェスティバルも担当することになりました

た。新たに2名の方が部会に参加されましたので、広報紙等の旧来の所掌事業も含めて、広報活動全体について広く検討を行っていく予定にしています。

## 事業委員会



**委員長 正本 大**

事業委員会では事業企画部会を含め5部会の運営と、地域リーダーズの

担当委員会となります。

造園業界のPRと共に各所への要望活動、業界の人材育成と共に全国造園デザインコンクールを通じた若手への業界入口を広げていくことを中心として活動し

ています。

コロナの影響が弱まり、経済活動も一気に動き始めましたが、一方で社会的な課題も多く抱えています。

皆様のご支援を頂きながら共に業界の

発展に寄与する委員会であるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



**全国造園デザインコンクール等推進部会 部会長 山田 通明**

当部会は①全国デザインコンクール実施計画の立案②造園教育関連機関との連

携強化を行う部会です。高校の先生、生徒との情報交換を積極的に行い、担い手が造園に触れ合う機会の拡大を目指してまいります。



**人材育成部会 部会長 森川 昌紀**

当部会は、以下の事項について取り組みます。①地域リーダーズを活動支

援し地域の活性化、若手の交流を図る②企業経営力向上に役立つ情報提供③造園施工管理技術検定の日造協独自の受験対策講習④造園に特化した職長・安全衛生責任者教育の講師派遣⑤造園 CPD 単位取得促進



**地域リーダーズ 総リーダー 廣部 修平**

発足から14年、今期は新任7名と大幅に入れ替わり、今一度活動目的に立ち返り、

全国レベルでのコミュニケーション・情報共有を図り、各地域の活性化につなげられる活動を主体的に展開。さらに、コロナ禍や近年多発する自然災害等に備え情報を交換し、新しい日常へ新しい常識を共有してまいります。



**要望・提言活動部会 部会長 水庭 博**

継続して取り組むべき重点要望三項は①担い手3法（建設業法、品確法、入札

契約法）の運用に対する対応②持続的な事業予算の確保・拡大③造園力を発揮し情報を周知共有し効果的な要望・提言活動を達成できるよう取り組んでまいります。

## 技術委員会



**委員長 伊藤 幸男**

技術委員会は、造園技術・技能の研究開発、技術情報の共有化、安全管理、

造園新技術の情報収集、日本造園学会など他団体との技術・技能の向上に向けての活動など、多岐にわたった活動を行っております。

昨今は、グリーンインフラ官民連携プ

ラットフォームでの情報発信や、建設DXへの取り組みなど、多くの会員の方の関心の高い課題にも取り組んでまいります。

今後もさまざまな視点から会員各社のご意見を集約し取り組んでまいりますの

で、皆様のご支援ご協力をよろしく願いたします。



**技術・技能・調査部会 部会長 佐藤 英介**

造園の現場での“ものの善し悪しが判断できる眼”を培う5つの技法編の

Web研修を実施していますが、新たに竹垣技法編の編集を進めています。また新たに造園新技術の情報収集を進め、会員への情報提供を目指しています。



**造園技術フォーラム部会 部会長 大場 淳一**

造園の技術・技能に関する情報を共有し新たな工法などを開発するため、造園技

術フォーラムを毎年開催しています。今年度は11月のかわさきフェアに併せて開催しますので、ぜひご参加ください。また新たに、造園のDX推進のため情報収集してまいります。皆さまのご協力をお願いいたします。



**技能五輪等部会 部会長 坂元 博明**

本年の技能五輪全国大会は、愛知県の元常滑高等学校のグラウンドで、11

月23・24日の2日間で開催されます。23歳以下の若者が課題を10時間以内で作庭しその出来栄を争います。会場での応援も可能で、競技はオンラインで配信もされます。ぜひご覧ください。



**安全部会 部会長 荻野 淳司**

安全衛生管理は、社会的制約から事業者として大変重要です。この度「造園安

全衛生管理の手引き」をより使いやすく目次構成を刷新し、さらに法律改正等の最新情報も分かりやすくお伝えできるよう努めます。また造園固有の樹上作業における安全のガイドラインの完成を目指します。

**耐久性が向上! 進化した 560XP® Mark II / 560XP® G Mark II**

### 560XP® Mark II / 560XP® G Mark II ヒートシールドハンドル



- 耐久性の向上
- AutoTune™ 3.0で最高のパフォーマンス
- シンプルスタートテクノロジーにより快適な始動性
- 従来機比100g軽量で操作性向上!

560XP® Mark II 970657040 **228,800円**(税込) 560XP® G Mark II 970656940 **242,000円**(税込)

排気量 59.8cm³ (質量 5.8/6.0kg) ■ 出力: 3.5kW ■ バー&チェーン: 50cm (20") & S35G (0.325")

ハスクバーナ・ゼノア株式会社 **0570-550933** info.hv@husqvarna.jp  
〒350-1165 埼玉県川越市南台1-9 受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日除く) ハスクバーナHP www.husqvarna.com/jp/

ふるさと自慢 神奈川県 工業地帯として栄えてきた川崎、じつは歴史と文化の街



工場夜景

今回は第41回全国都市緑化かわさきフェアが開催される川崎市の会場周辺についてご紹介します。

川崎市は大都市東京と横浜市に挟まれた細長い都市です。

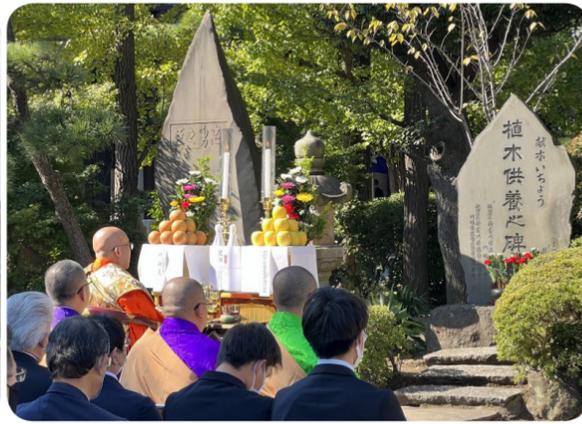
かわさきフェアのメイン会場である富士見公園周辺より東側の沿岸部は、川崎の象徴ともいえる工業地帯で、工場夜景や多摩川を挟んで羽田空港の夜景など、異空間にいるような景色が楽しめます。



川崎大師

るコア会場等々力緑地は、Jリーグ川崎フロンターレのホームグラウンドをはじめ、野球場、アリーナ等スポーツのほか、催し物会場では様々なイベントで、常にたくさんの人で賑わっています。

もう一つのコア会場、生田緑地は言うなれば緑地そのものが歴史や文化のようで、城址や古墳、国や県指定の文化財が点在しています。また緑地内には、かわさきと緑の科学館、日本民家園、岡本太郎美術館、藤子・F・不二雄ミュージアムなどがあります。



植木供養祭

ウルフード「元祖ニュータンメン本舗」で腹ごしらえ。鶏ガラ・ニンニク・唐辛子の組み合わせは一度食べたなら病みつきです。



タンタンメン

最近ではカップ麺も出ているようですが、やっぱりお店で食べるのが一番。市内に20店舗ほどあるようです。

意外といろいろある川崎の街を探検してみませんか。

神奈川県支部 井上 雅博 (株)井上植木

歩き回ってお腹がすいたら、川崎のソ

日造協 新入会員のご紹介

Table with 2 columns: 社名/住所 and 代表者/FAX. Includes members like 相光園 越畑 輝好 and 山羽造園 山村 静男.

Table with 2 columns: 社名/住所 and 代表者/FAX. Includes members like 造園太郎(有) 佐藤 太郎 and 山羽造園 山村 静男.

日造協賛助会員の紹介 野崎興業株

川の恵から生まれた新しい黒土「エコ団粒黒土」 弊社は埼玉県中東部に位置する伊奈町で、浄水発生土を原料とする園芸用土の製造販売を行っております。

良く、また水を吸うと長く保水します。含水率は概ね60%程度です。●腐植質を多く含み(窒素分が多い)、肥料成分を保持する能力にすぐれています。



【造園用フルハーネスの購入方法】 造園の作業に適した「造園用フルハーネス」を会員特別価格でご購入希望の方は URL (http://shop.kousinen.com/) よりお申込ください。

- 18(木) 城東職業訓練センター出前講座
19(木) 建設物価懇談会
25(木) 関東地方整備局道路部との意見交換会
26(木) 植栽基盤診断士認定委員会(試験部会)
27(金) 女性活躍推進部会
10(木) 総支部・支部交流会、現地視察(関東)
11(金) 技術委員会(全国)
15(木) 都市緑化川崎フェア庭園展コンテスト審査会
17(木) 北陸地方整備局企画部との意見交換会
18(金) 全国造園デザインコンクール等推進部会
19(土) 第41回全国都市緑化かわさきフェア~11月17日まで
23(木) 財政基盤強化部会・会員拡大推進部会合同会議
24(木) 登録造園基幹技能者講習(大阪)~25日まで
25(金) 運営会議
12月までの記事構成について審議
●グリーンインフラ産業展におけるGIPF実行委員会
8/1 グリーンインフラ産業展2024のシンポジウム・ブース企画について審議
●造園技術フォーラム部会
8/25-26 登別市長とのICT活用に関する意見交換、DXに関する取組事例発表を実施
●造園施工管理技士受験対策講習
8/8 中国総支部(広島)で実施
●国際委員会(全国)
8/2 AIPH総会ほか国際関連イベント、国内の他造園団体との連携、今後の部会の活動について審議
●海外日本庭園に関する情報交換会(国交省都市局)
8/22 海外日本庭園再生プロジェクトに関する今後の進め方や調整の方法について検討

編集後記 今年の夏も暑さが厳しく異常気象が続いています。先日の東京都心の集中豪雨では私の最寄り駅も浸水してしまい、初めての体験で驚きました。グリーンインフラや流域治水といった事の重要性を身に染みて感じました。

ひよんなきっかけで、木製のお箸を作ることがありました。やってみて意外と楽しかったのか、それ以来少しずつですが木でもものづくりをするようになりました。



木で作ったお箸やスプーンとアクセサリー(ピアス)

木によって、色や質感、加工のしやすさなど個性はさまざまです。木の色といえば薄い茶色か濃い茶色だけだと思っていましたが、茶色の中でも赤みがかかったり、アッシュに近かったり、珍しい樹種ではそもそも茶色でなく紫や黄色のものもあります。

ある日、処分枝を見ていて、ふと何か作れないかなあと思

い、アクセサリーを作ってみました。木特有の、温かみのあるアクセサリーになったことに加え、ああ、あの時の枝だなあ。あの時やたら暑かったなあ、など思い出もついてきて、より思い入れが深いものとなりました(笑)。

今後何が起こるかわかりませんが、細々と続けていけたらいいなと思っています。

「マルシェとかで売ったらいいやん笑」とよく言われるので、いつか出店しようかな笑。

- 事務局の動き
【9月】
3(火) AIPH年次総会~7日まで
環境緑化樹木識別検定資格認定委員会
広報活動部会
5(木) 運営会議
財政運営強化等検討ワーキング会議
2027年国際園芸博覧会特別委員会
6(金) 全国事務局連絡会議
10(木) 街路樹剪定士・緑地樹木剪定士認定委員会(試験部会)
12(木) 街路樹剪定士・緑地樹木剪定士認定委員会
都市緑化技術編集委員会
13(金) 技術・技能・調査部会
15(日) 植栽基盤診断士認定試験(学科試験)
17(火) 造園領域発展戦略委員会正副委員長等会議

- 18(木) 城東職業訓練センター出前講座
総務企画部会
19(木) 建設物価懇談会
植栽基盤診断士認定試験(学科試験)
採点予備日~20日まで
25(木) 関東地方整備局道路部との意見交換会
資格制度委員会(全国)
26(木) 植栽基盤診断士認定委員会(試験部会)
建専連理事会
27(金) 女性活躍推進部会
【10月】
1(火) 広報活動部会
3(木) 運営会議
4(金) 全国リーダーズ勉強会~5日まで
7(月) 植栽基盤診断士認定委員会
8(火) 造園技術フォーラム部会
総支部・支部交流会(東北)~9日まで